

別紙

I. 事業評価総括表(令和2年度)

(単位:円)

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名又は 間接補助事業者名	補助事業に 要した費用	補助金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市避難所用機材整備事業	伊佐市	3,883,000	3,883,000	
2	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市避難所用機材整備強化事 業	伊佐市	886,160	886,160	

Ⅱ. 事業評価個表(令和2年度上期事業)

番号	措置名	補助金事業名		
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市避難所用機材整備事業		
補助事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市		
補助事業実施場所		伊佐市一円		
補助事業の概要	<p>伊佐市では、災害等に関しては伊佐市役所総務課交通消防防災係に対策本部を置き、地域のコミュニティ施設等を利用して伊佐市内に公設避難所(22ヶ所、収容人数2,190人)及び福祉避難所(2ヶ所、収容人数320人)を計24ヶ所指定しています。平成28年度にカセットボンベ式発電機を各避難所に配置することにより、必要最小限の電気を確保することができていますが、令和元年9月の台風15号による千葉県での大規模停電を教訓に、大規模災害に対応できるガソリン発電機、投光器等の防災備品を拠点となる避難所に設置することで、より一層避難所の防災体制の充実を図ります。</p> <p>○防災用品・備蓄品一式 投光器33台、発電機6台、防災倉庫4台、救急セット24セット、2つ折担架4台、折りたたみベッド6台</p>			
補助事業に関する主要政策・施策と目標	<p>主要施策:第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画(平成28年度～令和2年度) 政策3 :自然と調和した快適な生活空間づくり 施策13 :防災体制の充実 市民の生命・財産を災害から守るために、市民自身の防災意識の高揚や、自助・共助・公助による防災体制の充実を図り、災害に強いまちの形成をめざします。</p> <p>目標:普段から災害に対する備えをしている市民の割合 (平成26年度現状値42.2%→令和2年度目標値70.0%)</p>			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	令和2年度	
事業期間の設定理由	第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期まで			

補助事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度	
	普段から災害に対する備えをしている市民の割合70%	市民意識調査による	成果実績		%		
			目標値		%		70
			達成度		%		
評価年度の設定理由							
第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期の翌年度に評価を実施。							
補助事業の定性的な成果及び評価等							
投光器、発電機、防災倉庫、救急セット、2つ折り担架、折りたたみベッドを購入し、公設避難所の施設設備充実を図る事により、普段市民が利用する公設避難所の防災設備を拡充することで、市民の防災意識向上にも貢献し、災害時に避難者がより安心して避難できる施設となり、素早い避難につながると考えられます。また、大規模災害のような避難が長期化する場合でも避難者や避難所の管理者が安心して過ごせるなど防災体制の充実にも寄与していると考えます。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
補助事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	伊佐市内の公設避難所における備品等の整備台数		活動実績	台	—	—	77
			活動見込	台	—	—	77
			達成度	%	—	—	100
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		0	0	3,883,000			
補助金充当額		0	0	3,883,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		0	0	3,883,000			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
物品購入		指名競争入札		株式会社鹿児島消防防災(鹿児島市)		3,883,000	
補助事業の担当課室	伊佐市総務課						
補助事業の評価課室	伊佐市総務課						

Ⅱ. 事業評価個表(令和2年度下期事業)

番号	措置名	補助金事業名		
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市避難所用機材整備強化事業		
補助事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市		
補助事業実施場所		伊佐市一円		
補助事業の概要		<p>伊佐市では、災害等に関しては伊佐市役所総務課交通消防防災係に対策本部を置き、地域のコミュニティ施設等を利用して伊佐市内に公設避難所(22ヶ所、収容人数2190人)及び福祉避難所(2ヶ所、収容人数320人)を計24ヶ所指定しています。平成28年度にカセットボンベ式発電機、令和2年上期に投光器、救急セット等を各避難所に配置し、避難所備品の充実を図っていますが、令和2年7月豪雨、台風10号のような大規模災害に対応するべく、折りたたみベッド、折りたたみ式マットレス等の防災備品を各避難所に設置することで、より一層避難所の防災体制の充実を図ります。</p> <p>○防災用品・備蓄品一式 折りたたみベッド8台、カセットガスコンロ24個、ヤカン24個、折りたたみ式マット400枚</p>		
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>主要施策:第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画(平成28年度～令和2年度) 政策3 :自然と調和した快適な生活空間づくり 施策13 :防災体制の充実 市民の生命・財産を災害から守るために、市民自身の防災意識の高揚や、自助・共助・公助による防災体制の充実を図り、災害に強いまちの形成をめざします。</p> <p>目標:普段から災害に対する備えをしている市民の割合 (平成26年度現状値42.2%→令和2年度目標値70.0%)</p>		
事業開始年度		平成28年度	事業終了(予定)年度	令和2年度
事業期間の設定理由		第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期まで		

補助事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度		
	普段から災害に対する備えをしている市民の割合70%	市民意識調査による	成果実績		%			
			目標値		%		70	
			達成度		%			
評価年度の設定理由								
第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期の翌年度に評価を実施。								
補助事業の定性的な成果及び評価等								
令和2年上期に投光器、救急セット等を各避難所に配置し、公設避難所の施設設備充実を図る事により、普段市民が利用する公設避難所の防災設備を拡充することで、市民の防災意識向上を図り、災害時に避難者がより安心して避難できる避難所としての機能強化を行いました。今回、折りたたみベッド、カセットガスコンロ、ヤカン、折りたたみ式マットを購入し、大規模災害のような避難が長期化する場合でも避難者や避難所の管理者が安心して過ごせるなど防災体制の充実にも寄与していると考えます。								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	伊佐市内の公設避難所における備品等の整備台数		活動実績	台	—	—	456	
			活動見込	台	—	—	456	
			達成度	%	—	—	100	
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	886,160				
補助金充当額		0	0	886,160				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	886,160				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
物品購入		指名競争入札		ミドリ安全鹿児島株式会社 国分営業所(霧島市)		886,160		
補助事業の担当課室		伊佐市総務課						
補助事業の評価課室		伊佐市総務課						